

大洗町第6次総合計画に基づく令和3年度事業評価 評価一覧

政策3
観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり

(R5.2月末時点)

施策No.	施策名	施策No.	重点	具体的な取組み	評価	担当課
3-1	観光の振興	3-1-1	○	海の多様な利活用の推進	B	商工観光課、まちづくり推進課
		3-1-2	○	産学官民連携による共創の観光地づくりの推進	B	商工観光課、まちづくり推進課
		3-1-3	○	地域資源を生かした「食」開発の推進	B	商工観光課
		3-1-4		SNSの特性を活かした情報発信	B	秘書広報課、商工観光課
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	3-2-1	○	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	B	まちづくり推進課、都市建設課
		3-2-2		活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	B	都市建設課
		3-2-3		魅力あるみなとまちづくりの推進	B	まちづくり推進課、都市建設課
		3-2-4	○	公共交通の充実	B	まちづくり推進課
3-3	水産業の振興	3-3-1	○	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	B	農林水産課
		3-3-2	○	水産物の販売促進・販路拡大	B	農林水産課
		3-3-3		経営基盤の強化及び団体の育成	B	農林水産課
3-4	農業の振興	3-4-1	○	農業生産基盤の充実	B	農林水産課
		3-4-2		担い手の育成	B	農林水産課
		3-4-3	○	地域資源の活用	C	農林水産課
3-5	商工業の振興	3-5-1	○	商店街の特性を活かした賑わい整備	C	商工観光課
		3-5-2		創業支援と人材育成の推進	B	商工観光課

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-1	観光の振興	商工観光課、まちづくり推進課、秘書広報課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	—	観光入込客数	430万人	278万人	450万人
KGI	—	観光消費額(宿泊)	25,000円/人 (令和元年度)	23,600円/人 (令和2年度)	27,500円/人
KPI	3-1-1	海を活用した新たなイベントの開催	新規設定	2件	3件
KPI	3-1-1	釣り場環境の整備	未整備	—	1か所
KPI	3-1-2	道の駅おおあらい(仮)の整備	未整備	—	1か所
KPI	3-1-2	サイクルサポートステーションの拡充	2施設	6施設	8施設
KPI	3-1-3	地域資源を活用した新たなグルメ開発	新規設定	4品	4品

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-1-1	海の多様な利活用の推進	商工観光課、まちづくり推進課	B
取組内容や 今後の方針	<p>(一社)大洗観光協会主催による砂浜図書館の実施やナイトウェーブ(海辺のライトアップ事業)の実施など、現代のニーズにマッチした新たなビーチの利活用について取り組んだ。また、釣り場環境の整備に向け、港湾管理者である県や大洗町漁業協同組合、日本釣振興協会などの関係団体と、釣り場の整備に関する意見交換等を行った。意見交換により様々な課題が見えてきたことから、引き続き、県及び関係団体と協議し、町内での釣り場開放に向けた検討を進めていく。また、花火大会に合わせて音楽フェスの開催や新たなライトアップイベントの実施を計画する等、更なる海の多様な利活用の推進を図っていく。</p>		
3-1-2	産学官民連携による共創の観光地づくり	商工観光課、まちづくり推進課	B
取組内容や 今後の方針	<p>道の駅おおあらい(仮)の整備に向けた検討委員会を設置し、道の駅の整備検討を開始した。委員会から町への答申を受け、基本構想(案)を策定、意見公募を実施したところ、様々なご意見を頂いたことから、引き続き基本構想の策定を進めている。今後、基本構想の策定が完了後、基本計画の策定を目指す。</p> <p>また、サイクルツーリズムの推進については、サイクリストにやさしいまちづくりとして、町内事業者と協力し、サイクルサポートステーションを設置したほか、JR千葉支社の運営する自転車専用列車B. B.BASE と連携し、鹿島神宮駅から大洗駅までの区間で、大洗鹿島線サイクルトレインを実施した。</p> <p>今後も、サイクルサポートステーションの設置などにより、新たな観光ニーズであるサイクルツーリズムを推進していく。</p> <p>また、キャンプ場については、令和4年度からのキャンプ場管理一元化に向け、大洗キャンプ場、サンビーチキャンプ場をはじめとする関係部署との協議・調整のほか、トイレの整備について検討を進めるなど、引き続き利用客の利便性の向上を図っている。</p>		

(次のページへ続く)

3-1-3	地域資源を活かした「食」開発の推進	商工観光課、秘書広報課	B
取組内容や 今後の方針	<p>県やひたちなか市と連携し、ひたちなか大洗リゾート構想にて、新たに地域の特産品を活用した地域グルメを4品開発した。</p> <p>今後、開発した地域グルメの認知度向上や取扱店舗数の増加に向け、普及促進と積極的なプロモーションを図っていく。</p>		
3-1-4	SNS の特性を活かした情報発信	商工観光課、秘書広報課	B
取組内容や 今後の方針	<p>Twitter を活用して、イベント・行事情報、広報紙発行について発信しており、詳細な情報については、町ホームページへ誘導している。</p> <p>また、令和 4 年度中には町公式 LINE を整備する予定で、住民・観光客に対してより直接的に的確な情報を発信し、利便性向上を図る。</p>		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-1-1	委員:砂浜図書館やナイトウエーブなどの取組みは町のイメージアップに繋がっている。
3-1-3	<p>委員:ひたちなか大洗リゾート構想で開発した4品の地域グルメとはどんなものか。</p> <p>担当:「たことしらすのガパオライス」・「ほしいもシェイク」・「しらすのバーニャカウダ」・「ほしいもカップパン及びしらすち〜ずカップパン」の 4 品である。今後、地域グルメとして根付かせていくことが課題。</p> <p>委員:グルメ開発は行政が行ってもなかなか上手くいかない場合が多いが、開発したからにはイベント等でのPR強化が必要ではないか。</p> <p>担当:町全体で機運を盛り上げるような取組みを推進していく。</p>

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	まちづくり推進課、都市建設課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	地域ブランド調査の魅力度ランキングにおける魅力度の点数	7.6 ポイント (令和元年)	11.7 ポイント	8.6 ポイント
KPI	3-2-1	都市計画道路の整備延長	19.3km	19.4km	20.2km
KPI	3-2-4	大洗鹿島線大洗駅利用者数	784,750 人/年	533,000 人/年	784,750 人/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-2-1	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	まちづくり推進課、都市建設課	B
取組内容や今後の方針	<p>まちづくりの骨格となる都市計画道路・関根祝町線及び吉沼磯浜線について、早期開通を目指し、計画的に整備を進めている。</p> <p>交通ネットワークの充実に向け、関係者と連携した公共交通会議を設置し、町内の交通状況に関する協議を開始した。また、ひたちなか大洗リゾート構想推進協議会において、ひたちなか市～大洗町にかけての交通渋滞に関する調査を実施するため、実施箇所や実施日などの調整を行った。</p> <p>今後、交通渋滞調査の結果を分析し、効果的な渋滞対策について、公共交通会議をはじめとする、関係機関と連携し検討を行う。</p>		
3-2-2	活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	都市建設課	B
取組内容や今後の方針	<p>貴重な水資源を活かした親水性の高い水辺空間の創出に向け、水辺プラザの整備に関して、河川管理者である国との意見交換等を行った。</p> <p>今後は、国と連携しアクティビティやバリアフリーに対応した「誰もが利用しやすい空間」の整備に向けた検討を進める。</p>		
3-2-3	魅力あるみなとまちづくりの推進	まちづくり推進課、都市建設課	B
取組内容や今後の方針	<p>ひたちなか大洗リゾート構想の推進に向け、大洗港区の魅力向上のため、県と連携し、柔軟な土地利用が可能となるよう港湾計画の一部変更を行った。また、令和3年度はコロナ禍のためクルーズ船の寄港はなかったが、今後、クルーズ船の誘致を含め、大洗港周辺の更なる賑わい創出に向け、関係機関と連携し取り組んでいく。</p> <p>県道水戸銚田佐原線において、無電中化が進められており、良好な街並み形成や居心地がよく歩きたくなるまちづくりが推進されている。</p>		
3-2-4	公共交通の充実	まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	<p>既存公共交通の利用促進を図るとともに、大洗町地域公共交通会議を設置し、町の公共交通の現状の把握や課題の共有を行った。</p> <p>今後、公共交通会議での協議などを進めることで、町の公共交通のあり方について議論を進め、大洗町にマッチした公共交通の導入について検討を図る。</p>		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-2-1	<p>委員：渋滞対策について、具体的な方策はあるか。</p> <p>担当：現在、調査結果を取りまとめているところである。今後、調査結果を基に、迂回路の周知や看板の設置など、主にソフト面の対策に取り組んでいく見込み。</p>
3-2-3	<p>委員：KPIである大洗駅利用者数について、基準値から大きく減少した要因等は分析しているか。</p> <p>担当：人口減少に伴う定期利用者の減少などもあるが、大きな要因はコロナ禍における観光客の減少である。</p>

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-3	水産業の振興	農林水産課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚数量	1,481t	1,301t	1,481t
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚高	509 百万円	648 百万円	509 百万円
KPI	3-3-1	アワビの種苗放流数	25,000 個/年	25,000 個/年	30,000 個/年
KPI	3-3-1	ハマグリ稚貝の移植放流数	3t/年	4t/年	5t/年
KPI	3-3-2	販売促進・販路拡大協議会の開催	新規設定	2 回/年	2 回/年
KPI	3-3-2	水産業界主体イベントの支援	新規設定	5 回/年	12 回/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-3-1	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	資源管理のための取り組みとして、茨城県栽培漁業協会からアワビの種苗 25,000 個を購入し大洗町漁業協同組合において放流を実施した。また、ハマグリ移植放流については、同組合が 4tの稚貝を採捕し移植を実施した。なお、令和3年度におけるアワビとハマグリの水揚高はそれぞれ、アワビが9百万円、ハマグリは89百万円だった。引き続き、水産資源の維持・増大を図るとともに漁場環境の保全を促進するため、関係機関と連携し、種苗・移植放流数の増加に努める。		
3-3-2	水産物の販売促進・販路拡大	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	地域ブランド化の推進による販路拡大に向けて、県や大洗町漁業協同組合等とシラスの品質向上に関する取り組みについて協議を行った。また、町ブランド認証品であるシラスを、ふるさと納税返礼品に登録するなどし、販路の拡大を図った。今後も、更なる販売促進・販路拡大に向けて、様々な課題を整理し、関係機関との連携を進めていく。		
3-3-3	経営基盤の強化及び団体の育成	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	町内の漁業・水産業事業者に対し、経営基盤の強化を図るための経営支援や制度資金に対する利子補給を実施した。 浜の活力再生プランに基づいて実施する「漁船保全修理施設整備事業」(事業主体:大洗町漁業協同組合)の支援を実施しており、完成に向けて引き続き取り組んで行く。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-3-1	<p>委員:以前実施していたカキ養殖事業の実績は。 担当:漁業研究会で実施し、とれたて市での販売や、かあちゃんの店でカキフライとして提供した。実証実験の結果、養殖は可能であるが、採算ベースに乗せることは難しいことが分かった。</p> <p>委員:後継者育成のためにも、廃校などを活用した陸上養殖も検討してはどうか。 担当:漁業者が養殖も実施することは難しいと思う。県が実施しているサバの養殖は民間企業に委託している。</p> <p>委員:養殖事業は、公的機関がやるにしろ民間がやるにしろ現実的には難しいと思う。</p>
3-3-2	<p>委員:漁協さんと連携して、かあちゃんの店に来ているお客様を減らさない、飽きさせないような取組みを行ってほしい。 担当:毎月、とれたて市を実施して漁港周辺の賑わい創出を図っているところ。今後は、加工組合等とも連携して、更なる販売促進・販路拡大を目指していく。</p>

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-4	農業の振興	農林水産課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	農業産出額	195 千万円	-	195 千万円
KGI	-	担い手への農地利用集積面積	269ha	255ha	285ha
KPI	3-4-1	基盤整備工事実施地区	大貫地区	向谷原地区	向谷原地区
KPI	3-4-3	地域間交流人数(松川地区交流施設の利用者数)	14,700 人/年	12,600 人/年	22,000 人/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)				評価
3-4-1	農業生産基盤の充実	農林水産課		B
取組内容や今後の方針	令和2年度に大貫地区の基盤整備事業が完了し、生産性の高いほ場整備を行った。令和3年度においては、向谷原地区評価換地及び工事委員会を設立し、県とともに土地改良事業(換地及び工事)に向けて取り組んだ。引き続き、県及び地権者と協議し事業を進める。			
3-4-2	担い手の育成	農林水産課		B
取組内容や今後の方針	向谷原地区基盤整備事業において、担い手農家への農地売買マッチングを実施し、大洗町農業委員会や農地中間管理機構を通じた農地集積に取り組んだ。また、国の補助事業(産地生産基盤パワーアップ事業)を活用し、収益力強化を目指す担い手の設備整備の支援を行ったほか、新規就農者からの相談を受けるなどの取り組みを行った。引き続き関係機関等と連携し、農業の中心的な担い手となる認定農業者の支援や新規就農者の育成について取り組んでいく。			
3-4-3	地域資源の活用	農林水産課		C
取組内容や今後の方針	松川交流拠点施設「夕日の郷松川」の利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、キャンプ利用者は増加(R2:881人→R3:1,437人)となった。引き続き、夕日の郷松川運営協議会(指定管理者)及び地域おこし協力隊と連携し、地域資源の活用を進める。			

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-4-1	委員:夏海地区の畑における基盤整備の状況は。 担当:農業委員会や県と連携を図りながら、担い手農家や地域の方(地権者等)との意見交換会を実施してきたところ。今後も優良農地を守るため、慎重に事業を進めていく。
3-4-3	委員:「夕日の郷松川」に加えて「南側の埋立地」の事業展開について、町がしっかりと関与して進めてほしい。 担当:運営協議会や地域の方々をはじめ、民間企業とも連携を図りながら、地域資源である「夕日の郷松川」を含む、涸沼を臨む松川地区の活性化に努めていく。

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-5	商工業の振興	商工観光課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	町内事業者数(商工会会員数)	587 事業者	586 事業者	587 事業者
KPI	3-5-1	商店街活性化会議の開催	新規設定	-	2回/年
KPI	3-5-1	地域通貨の電子化	新規設定	-	実施

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-5-1	商店街の特性を活かした賑わい整備	商工観光課	C
取組内容や 今後の方針	新型コロナウイルスの影響を鑑み、経済対策を優先的に行っているため、KPI にある商店街活性化会議の設立には至っていない。 今後、商店街が抱える課題等を整理し、効果的な事業を進めるため、商店街活性化会議の設置について協議を進めていく。		
3-5-2	創業支援と人材育成の推進	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	空き店舗等活用支援事業を実施し、町内の空き店舗を活用して創業する方への創業支援を行った。 引き続き、創業支援を行うとともに、今後は、創業後の経営安定に向けた支援について検討を進める。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-5-1	委員:コロナ禍でもあり商店街の賑わいがあまり感じられなかったが、最近、イベントも再開しつつあることから、今後の機運醸成に期待する。
3-5-3	委員:商工会等とも連携して、創業者へのフォローアップに努めてほしい。